

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1
道路網の整備と維持管理

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

道路維持課長 大賀隆宏

電話番号

0852-22-5187

事務事業の名称	県代行市町村道路整備事業	
目的	(1) 対象	市町村中心部から遠い集落に居住する住民
	(2) 意図	市町村中心部から遠い集落に居住する住民の中心部へのアクセス時間を短縮する
事業概要	過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、半島振興法の各法律に基づき、基幹的な市町村道を都道府県が道路管理者である市町村に代わって行う県代行事業により、市町村中心部から遠い集落に居住する県民の中心部への供用を図る	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県代行事業供用延長	目標値		1.0	1.1	1.3	1.4	km
	取組目標値							
	式・定義 県代行事業事業費換算延長	実績値	0.9	1.0	1.1			
		達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名	目標値						
	取組目標値							
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	208,893	134,707
うち一般財源 (千円)	5,623	3,752

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

これまでに投資した事業費を換算延長として算出
 平成27年度までに投資した換算延長 平成27年度までに投資した事業費/全体事業費*全体延長=1,093百万円/2,283百万円*1.88km=0.90km
 平成28年度までに投資した換算延長 平成28年度までに投資した事業費/全体事業費*全体延長=1,261百万円/2,283百万円*1.88km=1.04km
 平成29年度までに投資した換算延長 平成29年度までに投資した事業費/全体事業費*全体延長=1,381百万円/2,283百万円*1.88km=1.14km
 平成30年代半ばの完了を見込む

6. 成果があったこと（改善されたこと）

これまでの代行事業の着実な投資により、着実な事業進捗を図る

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

バイパス計画であるため途中供用がなく、工区完成に伴い事業効果が発揮され、事業途中では事業効果が県民に見えにくく、早期の完成が見込まれる

②困っている状況が発生している「原因」

現在施工中の工区は大規模土工を伴うが、幹線道路に平行するため、残土搬出ができる道路に限られることから、崎地区側一方向からの片押しによる施工となり、年間の施工量が限られる
 道路の計画位置は急峻な地形で、現道への接続による部分共用ができない
 当初計画では切・盛土の収支は均等であったが、土質の影響により、大量の残土が発生することとなった

③原因を解消するための「課題」

一方向からの片押しによる施工を考慮し、早期の工区完了に向けて、近傍に残土処理場を確保することにより施工能率が向上し、コスト削減を図る
 早期完成を目指している中で、市町村道事業を含め、管内全体の今後の社会資本整備事業費の予算枠にも配慮する必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

より近傍の残土処理場を確保し、コスト削減を図り、早期完了に向かって取り組む